

下沼のナガエツルノゲイトウ・オオバナミズキンバイ繁茂状況調査

日時/2018年5月21日(月) 午前9時00分集合、9時30分～11時30分

場所/手賀沼下沼(手賀大橋より東側)

参加者/県立中央博物館：林紀男、東京大学：海津裕、遊佐、手賀沼課：初見、柏市環境政策課：森山、美手連：八畝、間野、中野、梶、古川、竹内

ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイは、これまでの調査から、手賀沼の上沼(手賀大橋より西側)で多く繁茂していることが分かっており、特にオオバナミズキンバイは下沼ではまだ確認情報がありません。そこで、6月14日ロボット船によるハス刈り実験の下見後、下沼についてナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイの繁茂状況の目視調査を行いました。

★ 高野山新田地先の植生帯(手賀沼北岸)

植生帯の中にナガエが定着し、そこから水面に伸びていました。

オオバナは確認されませんでした。



★ 滝下広場地先(北岸)



★ 鷺野谷新田地先(南岸)



滝下広場地先も鷺野谷新田地先も、ヨシ帯の中に引っかけた切れ端が発端となったと思われるナガエ群落があり、どんどん大きく成長している様子がうかがえました。

オオバナは確認されませんでした。